

2024年を 展望する



新たな年を迎えましたが、人口減少と少子高齢化はわが国の社会の構造的問題をより顕著なものにしています。また、コロナ禍の収束により経済活動は正常化に向けて進展する一方で、緊張が続くウクライナ情勢や中国経済の先行き不透明感の高まりに加えて一昨年から続く円安、さらに物価の記録的な上昇基調、人手不足など、我々を取り巻く経済環境は厳しいものになっています。このような状況の中、政府は地域ポテンシャルを発揮するためにデジタル田園都市国家構想総合戦略を掲げ、地方の社会課題を成長の原動力とする施策を展開しています。

そこで本号では、「2024年を展望する」を特集テーマにし、「人手不足と賃金の動向」「これからの地域インバウンド振興に必要な戦略」「デジタル化の先にある労働の未来」の3本の論文を取りあげました。

人手不足と賃金の動向

野崎 宇一郎

01 ●

これからの地域インバウンド振興に必要な戦略
～中小企業の立場から

清水 哲夫

02 ●

デジタル化の先にある労働の未来

大久保 敏弘

03 ●